

平成 24 年改定以降の DPC/PDPS 導入影響評価のための 調査について

1. 概要

- 平成 24 年改定以降の DPC/PDPS 導入影響評価のための調査（以下、「退院患者調査」という。）については、次の 3 つの視点を踏まえて検討する必要がある。
 - (1) 平成 24 年改定に伴う変更への対応（変更事項）
 - (2) 退院患者調査のあり方に関するこれまでの分科会での検討成果（「今後の調査の考え方」平成 23 年 4 月 14 日 DPC 評価分科会）
 - (3) その他これまでに指摘された技術的事項

※ 従来、改定に伴う退院患者調査の見直しについては改定後の 6 月頃までに検討・実施してきたが、退院患者調査が通年化されたことから、平成 24 年改定後の対応等については年内に確定させる必要がある（システム変更を伴うため、一定の準備期間が必要）。

2. 検討

- (1) 平成 24 年改定に伴う対応
 - ① 基礎係数（医療機関群）や機能評価係数Ⅱの設定に伴う対応
基礎係数（医療機関群）や機能評価係数Ⅱの設定に伴う調査項目については、医療機関の調査負担を軽減する観点から、施設情報（様式 3）に組み込んでどうか。
 - ② 診断群分類見直しに伴う対応
平成 24 年改定での DPC（診断群分類）見直しに伴い、様式 1 において新たに DPC（診断群分類）設定で必要とされる項目については、追加で対応してはどうか（具体的内容は 5 ページに掲載）。
- (2) これまでの分科会での検討を踏まえた対応
平成 23 年 4 月 14 日 DPC 評価分科会において、これまでの退院患者調査の総括及び現行調査の課題について整理した「今後の調査の考え方」の(3)（下線）に基づき、以下の様に対応してはどうか。

【今後の調査の考え方】平成23年4月14日 D-7-2より再掲

- (1) 現在収集している調査項目については、データ収集を継続する。
- (2) 収集したデータについて、重点的に評価・分析を行う項目と、集計・分析によって従来傾向の確認にとどめる項目に整理する（モニタリング）。
- (3) 重点的に評価分析する項目に関連して、必要に応じた調査事項の追加等による充実を図る。

【今後の調査のイメージ】

調査項目・調査内容等	現行		今後
(1) 平均在院日数	○	→	モニタリング
(2) 入院経路	○	→	モニタリング
(3) 退院先状況	○	→	◎
(4) 退院時転帰	○	→	モニタリング
(5) 再入院・再転棟	○	→	◎
(6) 患者構成	○	→	モニタリング
外来診療に関する調査	—	→	◎（新設）
施設機能に関する調査(様式3)	○	→	◎（拡充）
医療の質に関連する調査	—	→	◎（新設）

① 外来診療に関する調査

外来化学療法と入院医療の関係の整理や救急医療の実態把握などに対応するためには、入院医療と直前直後の外来診療は一連の診療として一体的に分析・評価する必要がある。

この対応について、一定の診療データ提出能力のある施設について、外来診療におけるEFファイル（出来高点数情報）を提出できる環境があるとされていることから、今後、対応可能な施設及び、原則として全ての大学病院本院と高診療密度病院群については外来診療に係るEFファイルの提出を求めています。

② 施設機能に関する調査

基礎係数（医療機関群）・機能評価係数Ⅱの検討に際し、様式3（施設情報）の拡充が必要ではないかとの指摘を踏まえたものであり、前述2.(1)①と同様の対応としてはどうか。

③ 医療の質に関連する調査

特定の疾患・プロセス等に着目した分析や調査項目の追加により、医療の質的な評価（分析）を試行的に実施してはどうかとの指摘があるが、評価（分析）すべき項目について具体化（明確化）する必要があることから、今後、継続して検討することとしてはどうか。

(3) その他これまでに指摘された技術的事項

① 様式1の項目について

2. (1)②（診断群分類見直しに伴う対応）以外で、様式1において入力規則等について見直しが必要とされる項目について対応してはどうか（具体的内容は6ページに掲載）。

② 様式1のフォーマット拡充に関する検討

現行の様式1は患者1名につき1行のデータ記録方式となっている。

この方式は、表で目視しやすい反面、項目の新設や削除の度に、表の位置関係が変わってしまい、システム改修上の負担が大きいことや、調査項目数に上限を設定しなくてはならないなど、調査の自由度に乏しいとの指摘がなされている。（例：入院時併存症は最大4つまでの制限）

これらを踏まえ、今後、より拡張性の高い仕様への移行を検討してはどうか（下記）。

ただし、この対応は調査票の大幅な変更を伴うものであり、現場への影響も極めて大きいことから、平成24年改定以降、必要性やメリット・デメリットを検討するとともに、実施するとした場合でも、一定の周知期間（準備期間）を経て行う事としてはどうか。

<フォーマット変更のイメージ>

ID	入院日	退院日	...	ICD10
〇〇	11/1	11/18	...	C187
△△	11/3	11/7	...	K805

ID	項目名	値
〇〇	入院日	11/1
〇〇	退院日	11/18
〇〇	ICD10	C187
△△	入院日	11/3
△△	退院日	11/8
△△	ICD10	K805

3. 対応案のまとめ

上記検討を踏まえ、平成 24 年改定において対応可能と考えられる事項と、中長期的な対応が必要な項目について、以下の様な整理に基づき今後対応してはどうか。

(1) 平成 24 年度調査から対応する事項（平成 24 改定対応事項）

- ① 退院患者調査様式 1 の調査項目の見直し
 - ・ 診断群分類見直しに伴う項目の見直し（5 ページ）
 - ・ その他これまでに指摘された技術的事項（6 ページ）

- ② 退院患者調査様式 3 の調査項目の見直し
基礎係数（医療機関群）や機能評価係数Ⅱの要件に関連する項目の追加

- ③ 外来診療に関する調査
外来診療における EF ファイル（出来高点数情報）の提出。
 - ・ 大学病院本院及び高診療密度病院群の施設は必須
 - ・ その他急性期病院群の施設は任意

(2) 中長期的な対応事項

- ① 医療の質に関連する調査
具体的な評価（分析）項目について、今後、具体化（明確化）

- ② 様式 1 のフォーマット拡充に関する検討
 - ・ 平成 24 年改定以降、必要性、メリット・デメリットを検討
 - ・ 拡充するとした場合でも一定の周知期間（準備期間）を経て実施

「2. (1)②診断群分類見直しに伴う対応」における具体的見直し案

項目番号	項目名	変更の考え方	具体的な変更内容（案）
3. (11)	退院先	外来（自院）と外来（他院）の定義が紛らわしいとの指摘があることから、入力項目の定義について精緻化を図る。	（精査中）
6. (12)～(15)	がんの UICC 分類とがんの Stage 分類	一部の悪性腫瘍について、現行では両方の入力を求めている（UICC 分類への移行にあたっての経過措置）。UICC 分類に移行して良いものについて、がんの Stage 分類の入力条件から除外。	胃癌について、「がんの Stage 分類」の入力条件より除外。（他領域のがんについて確認中）
6. (16)	入院時 modified Rankin Scale	入力すべき時期・様式について検討。	（入力すべき時期・様式について精査中）
6. (18)	脳卒中の発症時期	入力簡素化の観点から発症日を入力する方式より選択肢方式に変更。	「発症 3 日以内」「発症 4 日以降 7 日以内」「発症 8 日以降」「無症候性脳梗塞」などの選択肢から選ぶ
6. (23)	肺炎の重症度分類	院内肺炎の重症度を加味できるように入力様式を変更	・ 「悪性腫瘍又は免疫不全状態」のあり・なし ・ 「院内発症」・「市中肺炎」 の 2 つを区別できる数字を加えて 6 桁で記述
6. (36)	テモゾロミド（初回治療）の有無	薬剤の適応疾患から、対象 DPC を限定する。	010010 脳腫瘍 のみ入力する。
6. (37) <u>（新設）</u>	分娩時出血量	妊産褥婦の重症度に反映する指標として検討	（精査中）

「2. (3)①様式1の項目について」における具体的見直し案

項目番号	項目名	変更の考え方	具体的な変更内容（案）
3. (9)	予定・救急医療入院	レセプトの入力内容と調査の入力内容に齟齬があり、わかりにくいとの指摘を踏まえ、相互に互換性のある入力仕様へ変更する。	1. 予定入院 2. 3.以外の予定外入院 3. 救急医療入院 (1.がレセプトの「予定入院」、2.3.が「緊急入院」と対応)
6. (12)～(14)	がんのUICC分類	地域がん登録が平成24年1月からUICC分類第7版を採用（移行）することを踏まえ、6版と7版両方での入力に対応する（移行措置）。	（精査中）
7. (1)～(3) <u>（新設）</u>	再入院調査	再入院調査について、入院時に合わせて入力する方式に切り替える。	3. (15)前回同一疾病での自院入院の有無がある場合入力 (1) 再入院種別： 「1」計画的再入院、「2」予期された再入院、「3」予期せぬ再入院 (2) 理由の種別： ①～⑥で入力（従来の再入院調査と同じ選択肢） (3) 自由記載欄 ((2)で理由が「その他」となった場合)
8. (1)～(3) <u>（新設）</u>	再転棟調査	再転棟調査について、転棟時に合わせて入力する方式に切り替える。	3. (6)入院経路が「3.その他病棟から転棟」の場合入力項目は同上（「再入院」を「再転棟」と読み替える）